



化粧品でかぶれやすい方は注意! 「ヘアカラーのアレルギーのお話」



監修: 関東 裕美先生 【(公財)日本エステティック研究財団理事長・(公社)日本毛髪科学協会 副理事長・稲田堤ひふ科クリニック】



髪を染めたのだけど、今日はちょっと頭がかゆいな。

あら、大丈夫? お医者さんで診てもらった方がいいんじゃない?



いつも使っていて問題ないし、ちょっとかゆいだけだから平気だよ。

そう? なんともないといいけど…。



そのかゆみ、ヘアカラーのアレルギーかもしれませんね。

人によっては、ヘアカラーを使うことでかゆみや赤みといったアレルギー反応が出ることがあります。使い続けることで症状が重くなることもあるため、症状が軽くても、すぐに使用を中止して皮膚科医に相談しましょう! 継続して髪を染めたい場合、皮膚科医に相談すれば、パッチテストを行って使用できる製品を教えてください。外用薬で治ったと感じても、同じ製品の使用はやめましょう。

あわせて注意! 他のアレルゲンへの交差反応にも注意

あるアレルゲン(アレルギー反応を引き起こす原因物質)に反応を示す人が、構造が似た別のアレルゲンにも反応してしまう現象を交差反応といいます。ヘアカラーの酸化染料に含まれる「パラフェニレンジアミン」と、美白化粧品に使用される「ハイドロキノン」や「アルブチン」は交差反応を示す場合があります。ヘアカラーでかぶれた方は美白化粧品にも、美白化粧品でかぶれた方はヘアカラーにも、ご注意ください。

ヘアカラーの使用前には **毎回必ず** 皮膚テスト(パッチテスト)を行いましょう!

皮膚テスト(パッチテスト)は、アレルギー反応が起こるかどうかを自分で調べる方法です。使用説明書に従って薬剤を直接皮膚に塗布して赤くなるかどうかをすぐみ、その部位が、翌日、2日後に変化してこないかどうかを確認します。初めてヘアカラーを使う時にはアレルギー反応を示さなくても、**使っているうちに反応することがあります**。今まで大丈夫だった人でも、皮膚テスト(パッチテスト)で皮膚に異常がおきた場合はそのヘアカラーを今後使うことはやめましょう。

お医者さんに相談してみるわ!

